



循環型社会の実現

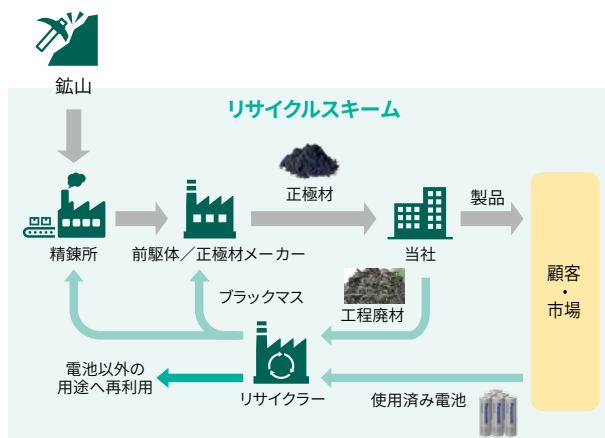
限りある資源を持続可能な形で利用し次の世代に手渡すことは、事業に多くの天然資源を利用する当社にとって重要な取り組みです。当社は再資源化の拡大を進めることで、「循環型社会の実現」を目指しています。

再資源化の拡大

再生利用の促進

当社は電池の生産にあたり、生産工程からの廃材や使用済み製品を回収・再資源化し、電池材料やそのほか多様な用途に再生材料として活用するなど、天然資源消費や廃棄物の抑制を通じたサプライチェーン全体でのリサイクルスキームの構築を進めています。今後も再生材利用の推進などを通じ、「循環型社会の実現」を目指していきます。加えて材料の生産や製品の廃棄などに係るCO₂排出量削減の観点からも、これらの取り組みを「脱炭素化の実現」と一体で前進させていきます。

■ サプライチェーン全体でのリサイクルスキーム



二次電池の取り組み

資源の有効利用や環境汚染防止などを目的に、世界各国で二次電池のリサイクルに関する法制度や仕組み化の整備が進められています。当社は電池の生産にあたり、天然資源消費や廃棄物の抑制につながるリサイクルスキームの構築を進めています。中国拠点では2024年から正極材に再生材を導入しており、適用製品を順次拡大しています。また日本拠点では、2025年から住友金属鉱山社と協働し、電池廃材からレアメタルであるニッケルをリサイクルし、再び当社の正極材料として利用するスキームを開始しています。

■ 工程廃材と使用済み電池のリサイクル



乾電池の取り組み

当社は一次電池の価値拡張に向け、使用済み乾電池の回収と再資源化を推進しています。タイでは2022年からコンビニエンスストアを運営するCP ALL社と、日本では2023年からイオンリテール社と協力し当社製の使用済み乾電池を回収しています。使用済み乾電池は東京製鐵社、TOMATEC社と連携し、鉄鋼材や微量要素肥料として再利用を進めています。また、タイでは製鉄会社のUMC Metals社と協業し、再資源化を実施しています。ほかにも、再生亜鉛を使用したエボルタNEOを2025年から販売開始しています。

■ 乾電池のリサイクルプロセス



■ パートナー企業と協働した正極材のリサイクルプロセス

